

## 溶出試験

### デュロキセチンカプセル 30mg 「日医工 G」

#### 溶出試験条件

装置	日本薬局方 溶出試験法 パドル法	液量	900mL	温度	37±0.5℃
----	------------------	----	-------	----	---------

#### 溶出試験結果

回転数	試験液	判定
50rpm	pH1.2	120分における本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±9%の範囲にあった。
	pH6.0	標準製剤の平均溶出率が40%及び85%付近の2時点において、本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあった。
	pH6.8	f2関数の値は42以上であった。
100rpm	pH6.0	f2関数の値は42以上であった。

デュロキセチンカプセル 30mg 「日医工 G」 の溶出挙動をサインバルタカプセル 30mg と比較した結果、上記全ての条件において「生物学的同等性試験ガイドライン」の判定基準に適合した。

